

2013 年度全体研究合宿

日 時 2013 年8 月31 日(土) ~ 9 月1 日(日)

場 所 パレスホテル箱根

【プログラム】

09 : 30 ~ 09 : 40 開会あいさつ

09 : 40 ~ 12 : 10 【第1部】研究報告

09 : 40 ~ 10 : 10 有澤雄毅(慶應義塾大学院)

「中国環境をめぐる政治」に対するアプローチ」

10 : 10 ~ 10 : 40 許 元寧(慶應義塾大学院)

「1970 年代初期における日本の海洋開発政策と中国 東シナ海大陸棚問題を中心に」

10 : 40 ~ 11 : 30 上野正弥(慶應義塾大学院)

「中国共産党と宗教団体 1980 年代における基督教愛国団体の改革をめぐる議論を中心に」

11 : 30 ~ 12 : 10 八塚正晃(慶應義塾大学院)

「中国の第三世界外交(1971 - 1982) 対外援助政策をめぐるポリティクス」

13 : 00 ~ 17 : 00 【第2部】研究活動報告

13 : 00 ~ 13 : 20 内政研究グループ活動報告

「中国の公共空間」(小嶋華津子 慶應義塾大学)

13 : 20 ~ 13 : 40 外交・安保研究グループ活動報告

「グローバル・コモンズと中国外交」(加茂具樹 慶應義塾大学)

13 : 40 ~ 14 : 40 出版報告 王 雪萍(東京大学)

王雪萍編著『戦後日中関係と廖承志 中国の知日派と対日政策』

(慶應義塾大学出版会, 2013 年) 報告

15 : 00 ~ 17 : 00 共同研究報告

『現代中国政治の理論と方法』

中岡まり(常磐大学) 「政治参加」

磯部 靖(慶應義塾大学) 「中央・地方関係」

金野 純(学習院女子大学) 「社会の統制」

【概要】

2013 年度の研究合宿をパレスホテル箱根で実施した。第1 部では若手の育成を主眼とし、司会、報告者とも博士課程に在籍する大学院生が担当する研究報告会を行った。第2 部においてはまず、内政研究グループと外交・安全保障研究グループの活動報告がなされた。前者は「中国の公共空間」、後者は「グローバル・コモンズと中国外交」をキーワードに研究会を開催し、問題

意識の共有化を図ってきたことを説明した。続いて共同研究の成果である『戦後日中関係と廖承志 中国の知日派と対日政策』の出版報告が行われた。戦後の中国の対日政策形成を、廖承志を中心とした専門家集団に照準を当てながら分析した同書については、インタビュー記録や档案館資料の資料的価値も含めて高く評価された。

最後に『現代中国政治の理論と方法』プロジェクトに関する報告がなされた。高橋センター長が構想を説明し、中岡氏、磯部氏、金野氏が各担当分野を報告した。多くの参加者が高い関心を示し、詳細な検討がなされた。長時間にわたる白熱した議論に、参加者は大きな刺激を受けた会合であった。